

10 高感度 CRP 値、耐糖能と循環器疾患、腎障害、要介護状態の発症に関するコホート研究

研究代表者名： 佐藤眞一

共同研究者名： 今野弘規

施設名： 大阪府立健康科学センター

はじめに

我々は、40年にわたって秋田県井川町での脳卒中の予防対策に協力してきた。この中でコホート研究を並行して実施してきたが、今回は高感度 CRP 値、耐糖能と循環器疾患、腎障害、要介護状態の発症に関するコホート研究を実施する。この初年度に当たって、井川町の概要を示し、現在の準備状況を説明する。

井川町の概要

秋田県は、昭和 30 年代に国民病と呼ばれた脳卒中による死亡率・発生率が高く¹⁾、井川町では昭和 38 年から我々も協力して対策を実施してきた^{2,3)}。悉皆検診による高血圧者の発見と重点管理という 2 次予防対策から始まり、食生活改善推進員を中心とした減塩や動物性食品の摂取増加、農休日の一斉導入などの 1 次予防対策を逐次導入し、現在に至っている²⁻⁴⁾。井川町は、秋田県のほぼ中央、日本海沿岸にあり、出羽丘陵に発して八郎瀧残存湖に注ぐ井川(全長 11.6 km)に沿って展げ、東西 14 km、南北 4 km と細長く、総面積は 47.95 km² である。東部は波状形の段丘を形成し、西部は平坦で広範な水田地帯を形成している。平成 6 年現在、総世帯数に占める農家戸数は 59.8% だが、米単作が主体の経営で、近年の兼業の増加に伴い、農地・農家数及び農家人口の減少は進んでおり、町内の誘致企業をはじめとする他産業に従事する機会が多くなっている。平成 7 年の国勢調査によると、産業別就業者数は、第 1 次産業 501 人(15.6%)、第 2 次産業 1,381 人(43.1%)、第 3 次産業 1,322 人(41.3%)であった。井川町の人口は、1955 年 7,763 人をピークに、以後若年層の流出や出生率の低下から徐々に減少し、1970 年から 2000 年までの 30 年間に、6,669 人から 6,126 人へと、543 人、8.1%の減少となっている。一方、65 歳以上人口は増加を続けており、平成 12 年 1,542 人で、総人口に占める割合、高齢化率は 25.2% である。中でも、寝たきり等により介護の必要度の高くなる 75 歳以上の人口は著明に増加しており、平成 11 年 669 人で、総人口に占める割合、後期高齢者比率は 10.9% である。高齢化率、後期高齢者比率はともに、県平均、国平均を上回って推移してきており、高齢化の比較的進んだ地区と言える。

現在の準備状況

1. 要介護状態の把握 介護保険法の施行に伴い、井川町の介護認定は、南秋田郡全域で一括して行うことになった。この介護認定結果を用いることとした。この際の介護認定は、個人識別情報を付すことなく行われるため、郡内で判定のバイアスは生じないと考えられる。そこで、郡内 8 町村の介護認定結果より、要介護者率の比較を行う。本年度は、このための打ち合わせを行うとともに、8 町村の比較性を検討するために、施設介護、居宅介護の整備状況を調査した。介護認定結果の収集は、各町村からの国への報告表(様式 1)を用いることとして相談を行った。南秋田郡の 8 町

村における施設介護、居宅介護の整備状況を調査した結果、居宅介護の整備状況に差はなかった。対象とした地区の人口・老年人口割合と介護老人保健施設、介護老人福祉施設の位置について図1、図2に示した。介護老人保健施設は井川町を含む4町に、介護老人福祉施設は全町村にあり、どの施設にも郡内の主な集落から車で30分以内で到達でき、他町村からの入院入所に制限は示されていないので、施設介護についても差は認められないと判断した。

対象地区

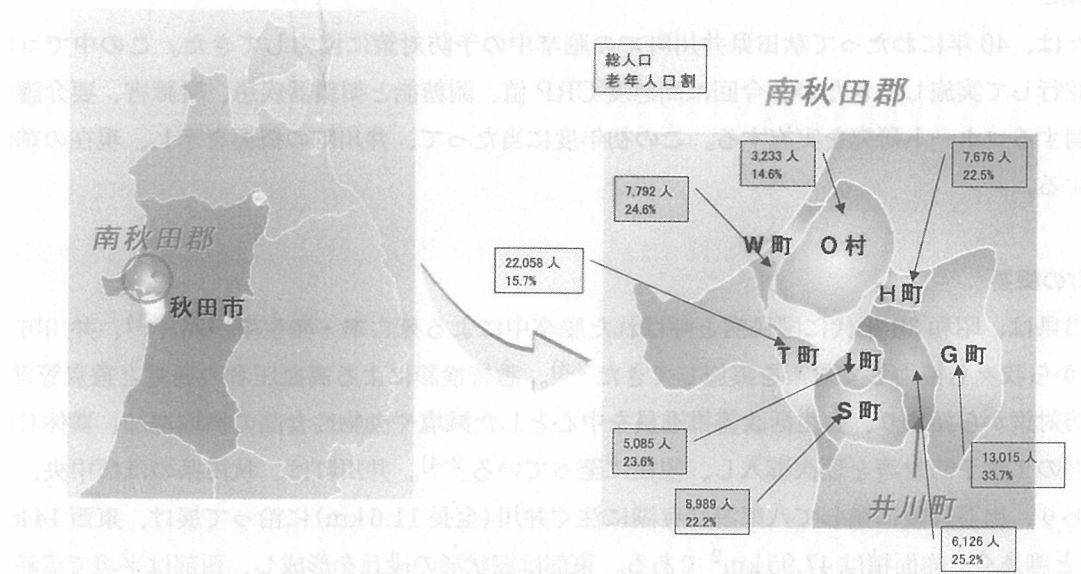


図 1

対象地区

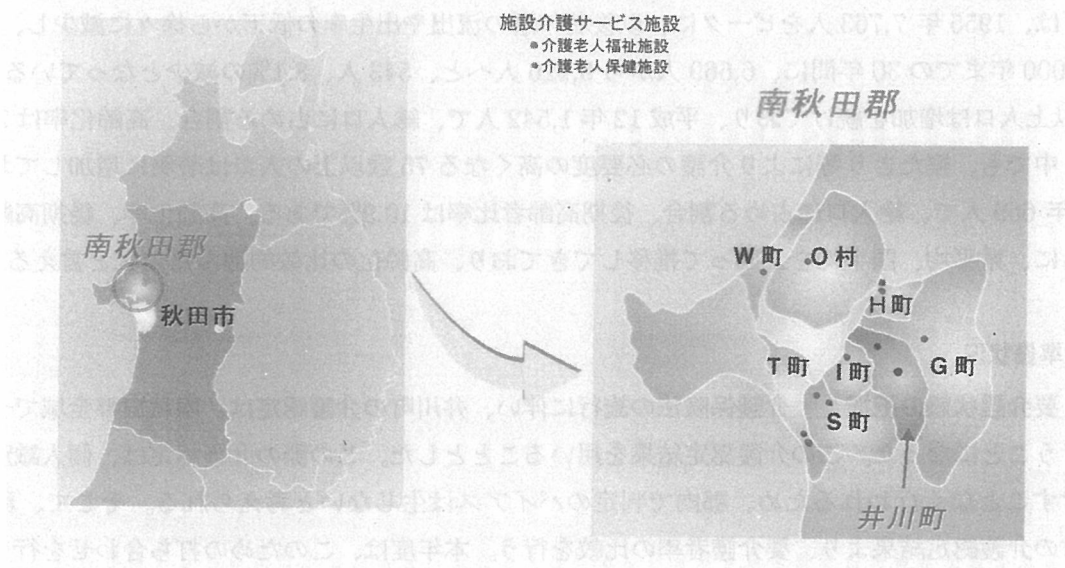


図 2

2. ベースラインデータの収集 高感度 CRP 値の測定は、機器として、FDA で認証されている BN プロスペックを装備し終え、平成 14 年度より開始する。耐糖能指標として、平成 13 年度に、血糖、ヘモグロビン A1c の他、1,5-アンヒドログルシトール、インスリンを測定した。

結論

秋田県井川町において、目的とするコホート研究のための体制が整い、一部のベースライン調査を開始できた。

文献

- 1) 児島三郎：秋田地方を中心とした脳卒中の特異性。日本公衛誌 1966 ; 13 : 907-924
- 2) 嶋本 喬：秋田県井川町での予防活動。地域と医療、講談社、東京、1980、161-178
- 3) 児島三郎：検査手技・データ・評価の判定(検診管理の展開)秋田県井川町を例にして。地域と医療(小町喜男編)、講談社、東京、1980、179-191
- 4) 嶋本 喬、稲田 紘、土井光徳ほか：秋田農村における成人循環器疾患のリスクファクターの変遷 20 年間の血圧、肥満度の変化を中心に。循環器疾患の変貌 日本人の栄養と生活環境との関連、保健同人社、東京、1987、139-160